

子供と HIV - 初めて HIV 感染と診断された、パート 5

13 歳未満の HIV 感染者の多くは、妊娠期、出産、授乳時に感染します。

米国では、優れた治療および予防戦略により、子供への HIV 感染率の低下に成功しました。



お子様が HIV と診断された場合、次のことに注意してください。

- 新生児の HIV 感染を正確に診断するには通常、2、3 カ月要します。
- HIV に感染した子供の 20%が、生後 1 年以内に日和見感染症または OI を発症します。こうした感染症は、免疫力が極度に低下した時に身体を攻撃することから「日和見感染症」または OI と呼ばれています。
- HIV に感染した子供は、歩く、話すといった成長指標に到達するのに時間がかかる可能性がります。
- HIV に感染した子供の多くが、健全な免疫システムを持った状態で青年期を迎えます。しかし、大人同様、子供も日和見感染症を発症する可能性があります。
- HIV に感染した子供は、感染していない子供に比べて一般的な小児感染にかかりやすく、より重症になる可能性があります。



- これらの感染症により、風邪、発熱、下痢、脱水症状、肺炎、発作が起こりやすくなります。こうした様々な問題が複合的に栄養失調を招き、長期入院となる場合もあります。

- HIV の治療は大人も子供も似ています。しかし、医療機関は臨床検査や薬の処方において、年齢による違いを考慮する必要があります。
- HIV に感染した子供の多くは、家族との問題、いじめなどその他の問題にも直面します。
- 青年期には、性交や見た目などに関する新たな問題に直面します。

HIV/エイズに関して疑問がある場合は、必ず解決してください。公衆衛生局または医療機関に問い合わせるか、公共図書館にてお調べください。



Text is from HIV/AIDS sources from the Department of Health and Human Services and adapted by HealthReach and Healthy Roads Media. This project has been funded in whole or in part with Federal funds by the National Library of Medicine award number HHSN276201500011I awarded to the Center for Public Service Communications. Images from iStock.com.